

今からすぐにやってみよう！

今すぐできる

～農作業事故防止対策～

雄牛は、死亡事故を含めて、重大な事故の原因になっています。
今一度安全を確認しましょう。

作業は雄牛が落ち着いているときに！

吠えている、目が血走っているなど、牛が興奮しているときに近寄ると危険です。牛が落ち着くのを待ちましょう。

雄牛に近寄る前に、牛の状態を観察する習慣を身につけましょう。

「ちょっとだけだから・・・」は危険！

2人以上で作業をする、壁のない広い側から近づく、必要以上に近づかない、真後から近づかない、大声や急な動作で牛を驚かささない、ヘルメットや安全靴を装着する、などの安全確保は基本です。

「ちょっとだけ」でも、危険なものは危険です。常に安全な作業や装備を心がけましょう。

除角しましょう！

雄牛の角は事故の原因になります。
除角は生後10日から2ヶ月までに行う方が、牛の負担も少なくてすみます。



実際には、家畜の状態、ほ場の状況によって、現場に応じた様々な対応策が考えられます。地域における農作業事故根絶に向けて、どのような取組がもっとも効果的か、地域の皆様で継続して検討していきましょう。

今日もニコニコ

無事カエル！

STOP!

ストップ！農作業事故！！

農林水産省

この他にも農作業安全情報をHPに掲載！

農水省 農作業安全

検索